



おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 ところあたたかな子

しなやかな強さをめざして



新緑の青葉が目まぶしい季節となりました。新年度がスタートして早いもので一か月が過ぎ、子どもたちは新しい学年、新しい学級、そして新しい生活のリズムに少しずつ慣れてきています。

子どもたちを見ていると、“学年がひとつ上がる”とは、こんなにも大きな力になるのかと驚かされます。登校時、誰よりも大きな声であいさつをしている新班長。新しいクラスで見違えるように集中して学習に臨んでいる子。友だちの輪がぐんと広がった子。折り合いをつけながら係や委員会の活動内容を話し合っている高学年の姿。なかでも、先生の話をしっかり聞き、初めてとは思えないほど落ち着いた態度で避難訓練に臨んでいた1年生の姿は素晴らしかったです。新しい環境で頑張っている姿は実に頼もしく、子どもたちの確かな成長を感じる毎日です。その反面、子どもたちは、大人が想像する以上に大きなエネルギーを使っています。とくに5月は、新生活の緊張が緩んだところに寒暖差や気圧の変化が重なり、心身の不調を引き起こしやすい時期でもあります。学校でも一人ひとりの表情や健康状態を見守っていきますので、子どもたちに普段とは違う様子が見られた時には、遠慮なく学校へご相談ください。



さて、本校の目指す子ども像は、学校通信のタイトルである「おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 ところあたたかな子」です。それを実現するため、令和8年度は、**思いや考えを伝え合ったり聴きあったりすることに重点をおき、学級活動や教科の学習を充実させていきます。**先行きの見えない不安定な国際情勢が続く今、正解のない問いに対して、互いの違いを認め合いながら「納得解」を見出していくことが求められています。学校生活で、自分の思いを言葉にし、友だちの声に耳を傾けるという経験の積み重ねが、その力の礎になるはずです。多様な意見に触れ、対話を深める経験を通して、より良い未来を創り出すための「しなやかな強さ」を、子どもたちの中に育てていきたいと考えています。



教職員一同、力を合わせて頑張ります。保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。(文責：植村)

教育後援会のみなさま、ありがとうございます！

「小津学区教育後援会」様には、昭和37年(1962年)の結成以来、学区在住の皆様のご支援・ご協力を得て、小津の子どもたちの教育に必要なサポートをしていただいています。

昨年度は本校に対し、長椅子60脚と会議机6台の寄贈、演劇鑑賞会の補助などをしていただきました。地域の皆様の温かいご支援に支えられて、教育活動を充実させることができています。寄贈いただいた長椅子や会議机は地域の行事でもお使いいただけますので、必要な時は本校教頭までご連絡ください。